

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.74, October 2010

ARSC 事務局：〒113 - 0033 東京都文京区本郷 7 丁目 3 番 1 号
東京大学経済学部 田渕研究室
応用地域学会事務局 文部省学会コード=10023
会長：田渕隆俊 担当：宮本成雄
TEL: (03)5841-5603
FAX: (03)5841-5521
E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 第 24 回研究発表大会のご案内
応用地域学研究への投稿論文の募集

1. 第 24 回研究発表大会のご案内

第 24 回応用地域学会名古屋大会実行委員長 黒田達朗

2010 年度 ARSC 研究発表会は、名古屋大学東山キャンパス（名古屋市千種区）において、下記要項で開催いたします。多数のご参画をお待ちしております。名古屋大会の最新情報については、大会ホームページ（http://www.geocities.jp/arsc_nagoya/）をご覧ください。ARSC ホームページ（<http://www.arsc.org>）からもリンクしています。

(1) 期日

2010 年 12 月 4 日（土）、5 日（日）

※坂下賞受賞記念講演および総会は、4 日の夕方(16:40～18:00)に開催されます。

(2) 会場

名古屋大学東山キャンパス（全学教育棟 1 階）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

※全学教育棟 1 階中央の入口付近で受付をお済ませください。

※一般公開シンポジウムおよび坂下賞受賞記念講演・総会は、4 日午後に別会場（経済学部カンファレンスホール）で開かれます。

(3) プログラム

プログラムは別紙の通りですが、直前の変更もありえますので、最新版については大会ホームページをご覧ください。

(4) 参加申込および支払いについて

大会ホームページから参加申し込み用紙をダウンロードして必要事項をご記入の上、名古屋大学環境学研究科 黒田達朗宛に、電子メールに添付するか、FAX、郵送でお送りください。(〒464-8601 名古屋市千種区不老町情文気付、E-mail : arsc2010@gmail.com、FAX : 052-789-4744)

■ 参加費 会員・学生無料 非会員 2,000 円

(一般公開シンポジウムの参加費は無料)

■ 懇親会費 5,000 円 (学生会員は 2,000 円)

■ 弁当代 1,000 円 (お茶つき・5 日昼のみ ; 4 日は生協などをご利用下さい)

懇親会およびお弁当の申し込みの受付は、11 月 23 日 (火) までとさせていただきます。

参加費・懇親会費・お弁当代は学会当日、受付にてお支払いください。

(5) 総会の委任状の提出

総会に欠席される方は、E-mail か FAX、または郵送で、大会事務局までお送りください。大会ホームページからもダウンロード可能です。

(E-mail に添付する場合は、必要事項記入後 PDF に変換してお送りください。)

送付先 : 第 24 回研究発表大会事務局 黒田達朗宛

(〒464-8601 名古屋市千種区不老町情文気付、E-mail : arsc2010@gmail.com、

FAX : 052-789-4744)

(6) 研究発表について

(a) 発表論文の提出

発表者は、最終原稿 (PDF) を 11 月 19 日 (金) までに、座長、討論者、大会事務局 (arsc2010@gmail.com) までお送りください。現時点では、ホームページ上にアップする予定です。したがって、原則として公開となりますので、あらかじめご了承下さい。座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

(b) 発表会場

原則として、発表 20 分、予定討論 10 分、一般討論 10 分です。座長の指示・判断にしたがって、円滑な運営にご協力ください。発表会場には Windows XP ないし 7 のパソコン (Office Pro. 2007 使用可。Office 2010 には対応せず) およびプロジェクターを用意しております。ファイルを USB メモリー等でご持参ください。なお、論文については、20 部程度を発表会場に直接ご持参いただくか大会事務局宛に事前送付してください。

(7) 交通案内

会場へのアクセスについては下記の通りです。大会のホームページから、より詳細な情報をご覧ください。(大会ホームページ (http://www.geocities.jp/arsc_nagoya/)。ARSCホームページ (<http://www.arsc.org>) からリンクしています。)

(a) JR名古屋駅・名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅からのアクセス

地下鉄東山線・藤が丘行に乗車し、本山駅で名城線右回りに乗り換え、次の名古屋大学駅で下車します。

東山線は、日中は5分間隔で運行しており、名古屋一本山間の所要時間は15分です。

名城線は、日中は10分間隔で運行しており、本山ー名古屋大学間の所要時間は2分です。

名古屋から名古屋大学までの運賃は260円です。

(b) 中部国際空港（セントレア）からのアクセス

始発駅である名鉄中部国際空港駅から空港線に乗車し、金山駅で下車します。

ミュースカイで24分、特急で31分、運賃は790円です。

ミュースカイ・特急の特別車を利用する場合は、特別車両券（ミューチケット350円）が別途必要となります。なお、ミュースカイは全車特別車両で運行しているため、ミューチケットを購入しなければ乗車できません。

普通・準急は時間がかかるので、ミュースカイか特急をお勧めします。

金山駅で地下鉄名城線左回りの列車に乗り換え、名古屋大学駅で下車します。

名城線は、日中は10分間隔で運行しており、金山ー名古屋大学間の所要時間は21分、運賃は260円です。

名古屋大学駅に到着しましたら、1番出口をご利用下さい。

(8) 一般公開シンポジウム

大会初日の午後に、研究発表と同時並行して、下記の要領で地元向けの公開シンポジウムを開催します。こちらにも奮ってご参加ください。

日時：12月4日（土）14：00～16：00（13:30開場予定）

場所：名古屋大学経済学部カンファレンスホール

テーマ：「中央リニア新幹線とこれからの中部地域」

■基調講演

宇野 護（JR東海取締役・東海道新幹線21世紀対策本部長）

「中央リニア新幹線の最新状況と課題」

■パネルディスカッション

「中央リニア新幹線とこれからの中部地域」

コーディネーター： 奥野信宏（中京大学理事・教授）
パネリスト（50音順）：宇野 護（JR東海取締役）
神尾 隆（中部経済連合会顧問・前副会長）
森杉壽芳（東北大学教授）
山田周司（愛知県地域振興部長）

(9) 懇親会

日 時：2010年12月4日（土）18：10～
場 所：ユニバーサル・クラブ
（学内：豊田講堂と大学本部の間、シンポジオンの2階）

(10) 宿泊・食事・観光等

大会ホームページに名古屋観光コンベンションビューローへのリンクがありますので、そちらをご参照下さい。

（会場案内は、後段に）

2. 応用地域学研究への投稿論文の募集

「応用地域学研究」編集委員長：奥村 誠（東北大学）

現在、「応用地域学研究」編集部では論文投稿を随時受け付けていますが、一応、年2回の雑誌刊行の予定に合わせて、1月20日と7月20日の2つの締め切り日を設けております。投稿論文は編集委員会の指名する複数の査読者により査読が行われます。雑誌は年2回の刊行を心がけております。奮ってご投稿下さい。（ホームページ <http://www.arisc.org/>を参照ください。）

1. 論文投稿希望の方は、論文はできるだけ word 形式のファイルを電子メールの添付ファイルでお送り下さい。宛先は、編集委員長です。LaTeX で作成された原稿で pdf ファイルでも結構ですが、印刷時の編集の都合で最終原稿は word でお願いすることがあります。

2. 受付の確認を電子メールで送付いたしますので、投稿後一ヶ月を過ぎても連絡が無い場合は、下記までお問い合わせ下さい。

3. 掲載論文の著作権は学会に帰属します。また、応用地域学研究発行1ヶ月後に学会HPにて公開します。

応用地域学研究編集委員長
奥村 誠
東北大学東北アジア研究センター

TEL 022(795)7571 FAX 022(795)7477
E-Mail mokmr@cneas.tohoku.ac.jp

3. 事務局より

応用地域学会事務局 担当 宮本成雄

○お詫びと訂正

7月に配布しましたニューズレターで、今期から2年間の運営委員を務めていただく方の紹介(運営委員の選挙結果報告)をしましたが、任期期間の誤記と一部の委員の方の重複、脱落がありました。ご迷惑をおかけしましたこととお詫びいたします。2010・2011年度運営委員は、正しく以下の方々です。

応用地域学会 2010・2011年度運営委員(敬称略順不同)

東地区 (11名): 佐々木公明、城所幸弘、赤松隆、安藤朝夫、村田安寧、浅田義久、八田達夫、河野達仁、貝山道博、山崎福寿、高橋孝明

西地区 (9名): 文世一、小林潔司、松島格也、小池淳司、松澤俊雄、佐藤泰裕、鄭小平、多々納裕一、山本和博

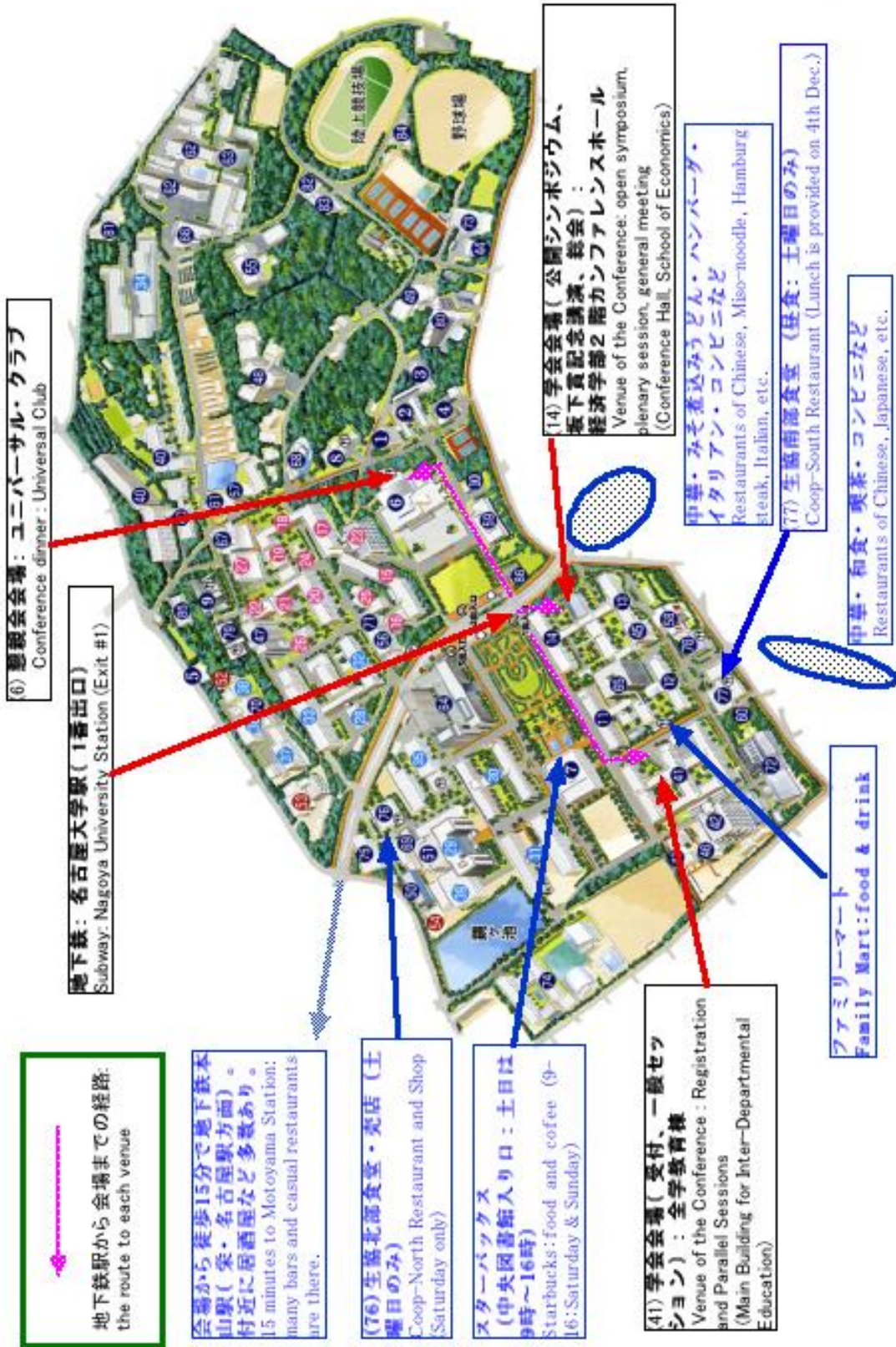
国外 (0名): 該当無 (以上20名)

- 第24回 ARSC 大会準備には、名古屋大学の黒田達朗先生(大会委員長)、小川光先生、奥田隆明先生を中心に着々と準備が進められております。赤松隆先生(東北大学)を委員長とするプログラム委員会の各先生方には、プログラム編成に大変なご苦勞をおかけしております。今大会には、89編の発表が寄せられており、今までにない盛り上がりとなっております。多くの方々の参加により、より盛大なる大会とし、皆様がたのご苦勞に報いられればと思います。

ご多忙とは思いますが多数のご参加をお待ちしております。

- 第1回アジア地域科学セミナーは、9月11(土)、12日(日)中国北京大学で開催されました。日本からは、20篇の論文発表と28名の参加、セミナー全体で38篇の発表がありました。ARSCとRSAC(中国地域学会)の両学会代表の挨拶に始まり、各セッションに分かれての発表と議論が、熱く展開されていきました。今後は、さらにアジア各国参加もえて、アジア地域における地域学に関する交流の場として、一層活発化されていくことと思います。来年は、仙台での開催を予定しております。

応用地域学会 (ARSC) ・ 会場マップ (Map of the venue)



受付・一般会場 (Reception, Parallel Sessions)

